

■ 事業の概要

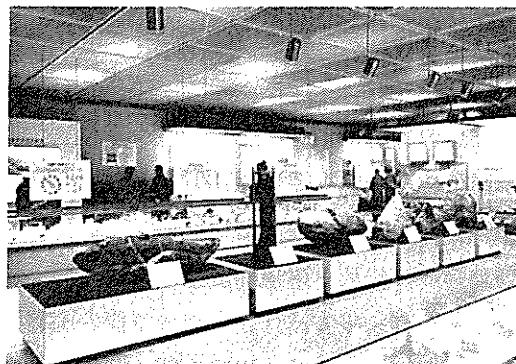
1 常 設 展

常設展示を構成する資料表

区分	実物資料標本類	ジオラマ 機器模型類	カラー透視写真 および写真	図板	計
地学	681 点	22 点	13 点	28 点	744 点
生物	1,280	5	29	38	1,352
考古	延 1,045	8	延24	延17	延 1,094
民俗	218	1	20	15	254
美術	延 191				延 191
史料	延 99	延 7	延26	延18	延 150
合計	3,514	43	112	116	3,785

(1) 地学展示室 (258 m²)

- ・本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- ・県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- ・各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか県内外の化石）。
- ・古生物を中心とした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- ・鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- ・温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- ・紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- ・各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- ・砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の解説展示。



(2) 生物展示室 (257 m²)

- ・大山と砂丘の生物の垂直および水平分布とその特性を解説展示。
- ・岩礁の生物の生態と分布（ジオラマ）を解説展示。
- ・中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- ・頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- ・オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- ・鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- ・県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣の展示。
- ・貝類の生息環境による分類とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産の展示。
- ・昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボなど）。
- ・植物の分類展示（樹幹、帰化植物、シダ、海藻、およびキノコ）。季節による入れ替え。

(3) 考古展示室 (258 m²)

- ・縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。

- ・長瀬高浜遺跡より出土の埴輪（家、甲冑、きぬがさ、盾）
銅剣、古事記に記述がみられたつづらさわまきの鉄刀、土器など179点を展示した。
- ・弥生時代の遺物と時代編年および文化交流などの解説展示。
- ・古郡家一号古墳をはじめ古墳の一括資料の解説展示。
- ・県内出土の須恵器を時代編年ごとに分類展示。
- ・古墳時代の生活用具の復元展示（かまど三點セットなど）。
- ・銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- ・県内出土の代表的なはにわ（鹿、家、水鳥など）の展示。
- ・古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、経塚出土の経筒などの展示。



考古展示室

(4) 民俗展示室 (257 m²)

- ・江戸時代末から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- ・芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具、影絵などを解説展示。
- ・生産コーナーでは「和紙と生産」のテーマで、青谷町、佐治村などでみられた和紙生産について、すき槽、こしき、たたき台、干し板等関係資料を展示した。
- ・灯器、発生史的分類により初期の電球までを展示。
- ・日用品、交易、化粧、食器、その他日用具の分類展示。
- ・つのだる、婚礼に使用された各種つのだるとほかいなどの展示。
- ・年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。



民俗展示室
(生産コーナー)

(5) 美術展示室 (260m²)

- ・絵画…鳥取県再置100年を記念し、新しく収藏した前田寛治の作品6点、浜田台児の作品1点を中心とした美術収藏品展（期間7.29～8.30, 9.1～11.8）、鎌倉時代以降の仏画、江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅、屏風を展示
- ・彫刻…平安時代から鎌倉時代の国、県指定の仏像等を展示。
- ・工芸…平安時代以降の国、県指定の金工品、請来品の中国陶磁器、江戸時代の郷土の陶器及び染色型紙を展示。

主な展示資料 ●重要文化財 △重要美術品 ○保護文化財

《絵画》

(日本画)

○雲竜図	土方稻嶺	本館蔵	楠公之図	根本幽嶽	本館蔵
林和靖之図	△	△	宇治川先陣之図	△	個人蔵
芦間潜鯉図	△	△	群鯉遊泳図	黒田稻卓	本館蔵
○猛虎図	片山楊谷	個人蔵	山水富士図	狩野有信	△
東海道中図	島田元旦	△	詠歌上月和歌	後水尾天皇	△
寿老ノ図	△	△	閑羽之図	原 在照	△
鯉之図	小畠稻升	△	吉野松鳥図	正堀適処	△

和歌短冊 元政上人 本館蔵
(洋画)

花と子供等	前田寛治	本館蔵
立てる子供	〃	〃
少女 女	〃	〃
西洋婦人像	〃	〃
物を喰う男	〃	〃
横臥裸婦	〃	〃
棟梁の家族	〃	〃
少女と子供	〃	〃
労働者	〃	〃
少女座像	〃	〃
裸婦習作	〃	〃
仰臥裸婦	〃	〃
自画像	〃	〃
工場内部	〃	個人蔵
伏臥裸婦	〃	〃
ブルターニュの女	〃	〃

(仏画)

○両界曼荼羅図(絹本)	智頭町豊乗寺蔵
○不動明王図(〃)	〃
十二天図(〃)	〃
○釈迦十六善神像(〃)	用瀬町大安興字蔵
不動明王像(〃)	〃



美術展示会

労働者	前田寛治	個人蔵
裸婦	〃	〃
加茂川	浜田台児	本館蔵
女弁護士	〃	〃
花容	〃	〃
海女	〃	〃

《彫刻》

●藏王権現立像(木造)	三朝町三仏寺蔵
女神坐像(〃)	〃
○大日如来坐像(〃)	若桜町永福寺蔵
○稻荷像	倉吉市円谷地区蔵

○薬師如来坐像(木造)	鳥取市森福寺蔵
藏王権現立像(〃)	岩美町觀照院蔵
△十一面觀音立像(鉄製)	西伯町加祥区蔵
△聖觀音立像(〃)	〃

《工芸》

●銅鏡	三朝町三仏寺蔵
○擬宝珠(二口)	関金町地蔵院蔵
○梵鐘	岩美町網代地区蔵
○飾太刀	鳥取市櫻谿神社蔵

○染織布	鹿野町讓伝寺蔵
懸仏	個人蔵
密教法具	本館蔵
○青磁香炉	関金町地蔵院蔵

(6) 史料展示室

鳥取の町人「町の記録」、国史跡鳥取藩主池田家墓所をとりあげ展示した。

- ・鳥取の町人「町の記録」(～56.12)

軍事、政治的都市である城下町の中で商工業者の住む町屋は、城下で最も活気のあるところであった。この展示は、池田家史料の中に残る藩政記録の中から町の成り立ちやしくみ、町人の暮らしを示す記録、地図を展示了。

・国史跡藩主池田家墓所(57. 1 ~)

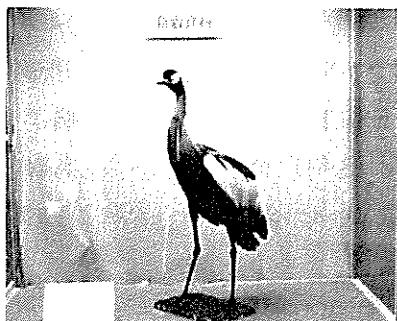
鳥取藩歴代藩主、藩主室等池田家一族が葬られている墓所は、江戸時代の代表的な大名墓所として、昭和56年10月国史跡に指定された。この展示は、池田伸央遺言状、御国日記、御帰館道中日記、池田光仲の葬礼の記事、池田家歴代の法名記等の墓所に関する文書、絵図、写真により、墓地の成立、葬礼の様子等を紹介した。

(7) 野外展示

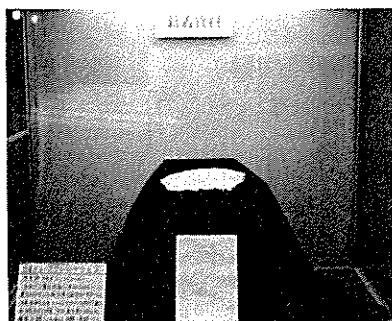
古墳時代の石棺、力石、岩石などを展示した。

(8) 新着資料展示コーナー

分野	テーマ	期間	内容
民俗	倉吉の土人形	56. 4. 1 ~ 5. 13	馬乗り天神、加藤清正他
動物	カンムリヅル	5. 14 ~ 6. 8	カンムリヅル
ク	スズハモ	6. 9 ~ 6. 16	スズハモ
ク	ウニやヒトデの仲間	6. 17 ~ 9. 1	パネル、ウニ、ヒトデの標本等
ク	ニホンカモシカ	9. 2 ~ 11. 12	ニホンカモシカ
ク	フウチョウ	11. 13 ~ 57. 2. 8	エトナオオフウチョウ
地学	恐竜化石ブラジロサウルス	2. 9 ~ 3. 31	ブラジロサウルス



カンムリヅル



ブラジロサウルス

● 催物展

(1) シカゴ・ランドフォールプレス版画展—現化アメリカの版画—

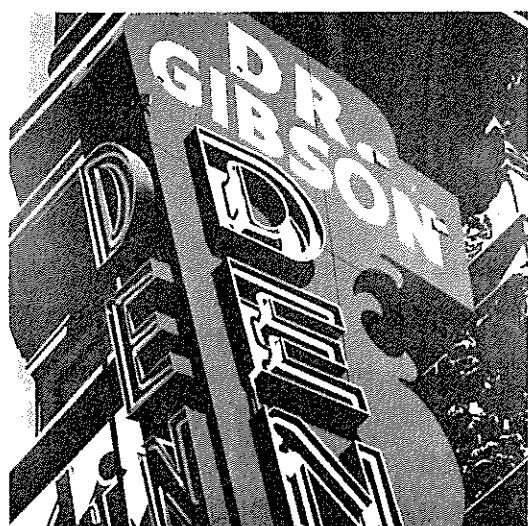
会期 昭和56年6月16日(火)~6月28日(日)

会期 第3展示室

現在アメリカで活躍している現代版画作家19人の作品50点を展示し、アメリカ美術界10年間の動向とアメリカ現代版画を紹介した。

主な展示作品

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. タマーレス | ウイリアム・アラン |
| 2. 単純な物語 | テリー・アラン |
| 3. おしつけられて | ロバート・アーニソン |
| 4. ドクターギブソン | ロバート・コティンガム |
| 5. サウス・ベンド | ロバート・インディアナ |
| 6. プランコ(馬) | ルイス・ジメネス |



ドクターギブソン(ロバート・コティンガム作)

2 特 別 展

(1) 近世の衣裳美—小袖と浮世絵—

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和56年4月25日(土)～5月17日(日) 無 休

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

入館者 5,063人

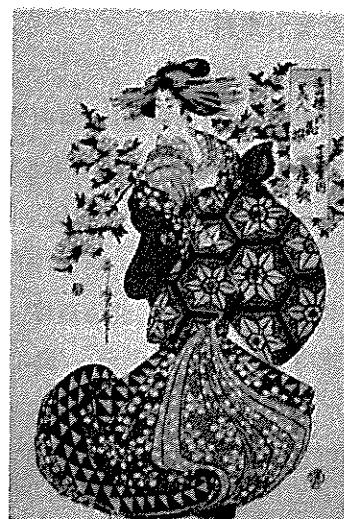
入館料 一般 500円(団体 400円)、高校生 300円(団体 200円)、小・中学生 200円(団体 100円)

今日の和服の基礎は、桃山時代に完成した小袖形式の衣裳である。また、それを飾る文様、色彩、各種の染織技術も、この時期京都を中心に急速に発達してきた。

今回は、衣裳の型式の変化はみられなくなり、より美しいものを求めた江戸時代の女性の粧いに集点を当て、吉方觀方コレクションの中から小袖、打掛、帷子等の衣裳を中心に髪飾品、浮世絵、風俗屏風を展示し、衣裳の美、染織文化の発達を関係資料約260点により紹介した。

主な展示資料 (奈)…奈良県立美術館蔵、(京)…京都府立総合資料館蔵、(鳥)…鳥取県立博物館蔵、

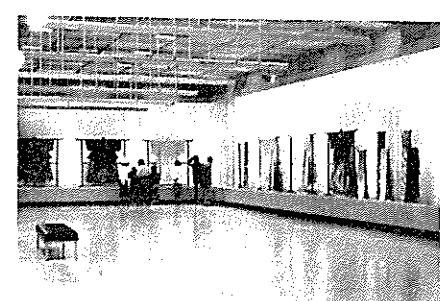
- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 小袖 菊水文様 (奈) | 13 単衣 芒に揚羽蝶文様 (奈) |
| 2 タ 波に群鶴散し文様 (京) | 14 タ 柴垣に菊裾文様 (タ) |
| 3 タ 芦に舟裾文様 (奈) | 15 タ 秋草に鈴虫裾文様 (タ) |
| 4 タ 梅に扇面散菊に薊文様 (タ) | 16 帷子 几帳に桐文様 (タ) |
| 5 タ 松に網干裾文様 (京) | 17 タ 銀杏に冊子散文様 (タ) |
| 6 振袖 源氏雲に松梅文様 (奈) | 18 タ 秋草に蜻蛉裾文様 (タ) |
| 7 タ 磁に桜花網千鳥文様 (タ) | 19 タ 笹葉に梅枝文様 (京) |
| 8 タ 松竹梅鶴亀文様 (京) | 20 被衣 若松筐文様 (奈) |
| 9 打掛 垣に梅と鶯椿文様 (奈) | 21 浴衣 花袋千鳥文様 (タ) |
| 10 タ 遠山に菊慈童文様 (京) | 22 帯 桜筏文様 (タ) |
| 11 間着 几帳文様 (奈) | 23 タ 花蝶の丸散文様 (タ) |
| 12 タ 群雀裾文様 (タ) | 24 掛下帯 月に芒文様 (タ) |
| | 25 タ 牡丹に孔雀文様 (タ) |
| | 26 丸帯 格子文様 (タ) |
| | 27 タ 菊梅に鶴文様 (タ) |
| | 28 美人誰袖図絵巻 (タ) |
| | 29 男女遊楽図 |
| | 30 浮世絵 立美人図 (奈) |
| | 31 タ 花下美人少女図 (タ) |
| | 32 タ 御殿女中図 (タ) |
| | 33 タ 美人花見図 (タ) |
| | 34 タ 青楼美人六歌撰丁字屋内唐歌 (タ) |
| | 35 タ あづまぶり美人そろゑ (タ) |
| | 36 団 扇 (京) |
| | 37 鳥取藩衣類御法度書 (鳥) |
| | 38 鳥取藩御家中御定 (タ) |



青楼美人六歌撰丁字屋内唐歌
(二世喜多川歌磨筆)



小袖 (梅に扇面散菊に薊文様)



会 場 風 景

- | | |
|---------------------|------------------|
| 35 タ あづまぶり美人そろゑ (タ) | 37 鳥取藩衣類御法度書 (鳥) |
| 36 団 扇 (京) | 38 鳥取藩御家中御定 (タ) |

(2) 県政100年記念展

鳥取県100年 一県民の歩んできた道一

主 催 鳥取県、鳥取県教育委員会

後 援 鳥取県各市町村、鳥取県各教育委員会、各報道機関、各関係団体

会場、会期、入場者

会 場	会 期	入場者
鳥取県立博物館(第1展示室・第2展示室・第3展示室)	昭和56年9月12日(土)～9月27日(日)無休	15,441人
倉吉博物館	10月4日(日)～10月11日(日) ク	7,353
米子市総合研修センター	10月21日(水)～10月28日(水) ク	10,153
合	計	32,947

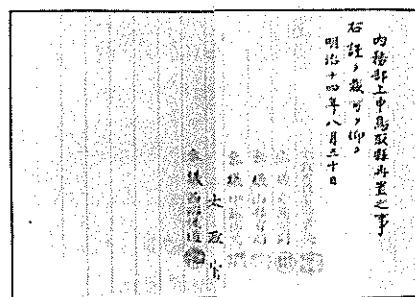
入場料 無 料

昭和56年は、明治14年9月12日鳥取県が島根県から分離し、ふたたび鳥取県として歩みはじめてから100年になる。これを記念して行われる県政100年記念事業の一環として、先人たちがたゆまぬ努力と英知により今日の鳥取県を築き、郷土の発展に尽してきた業績を振りかえり、さらに、21世紀に向って「活力とうるおいのある郷土づくり」を県民とともに考えてみようと関係資料約900点により展示した。

主な展示資料

〈近代のあけぼの〉

池田慶徳告諭(本館蔵)、河田景与辞令(個人蔵)、鳥取県廃止に関する内務大臣通達、島根県から鳥取県への事務引継書(島根県蔵)、国会ヲ開設スル允可ヲ上願スル書(国立国会図書館蔵)、参議山県有朋山陰巡察復命書、鳥取県再置の廟議(国立公文書館蔵)、県再置内定を知らせる佐久間宛伊藤書状、北海道移住士族名簿(鳥取図書館蔵)、鳥取再置反対建白書(早稲田大学蔵)、鳥取県開庁通達(多里住民会)



鳥取県再置の廟議

〈進む産業と文化〉

大日本稻作要法(国立国会図書館蔵)、鳥取県議会議事録(鳥取県蔵)、第一期、第二期国定教科書(東京書籍蔵)、鳥取四十連隊日誌(護国神社蔵)、太一車(本館蔵)、山陰線を最初に走った230型機関車(交通博物館蔵)、鳥取県果樹協会連合設立関係文書(鳥取県果実連合会蔵)、山陰線用地買収関係書(余子公民館蔵)、明治初めごろの教科書、高等小学校卒業証書、教育勅語、池田賞の扇子・硯・硯箱、山瀬幸人遺品、千曲利用発明特許証、(個人蔵)



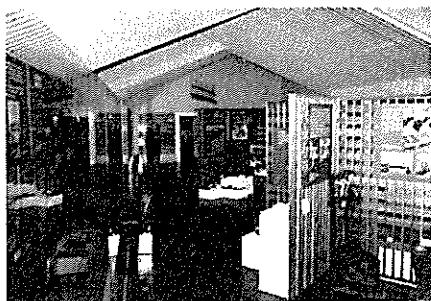
会場風景(鳥取県立博物館)

〈大正デモクラシー〉

橋浦時雄日記、県下で発行された児童雑誌「瞳」(個人蔵)、大正期のラジオ(NHK放送博物館)、キング等(講談社)、鳥取高等農林学校校旗(鳥取大学蔵)、第1回全国野球大会記録(鳥取西高校蔵)

〈戦争への道〉

千人針、千人力(歴史民俗資料館)、開戦の詔書、終戦の詔書(国立公文書館蔵)、勤労報国隊の旗、軍人教練成績表(倉吉農業高校蔵)、橋田邦



会場風景(倉吉博物館)

彦遺書(本館蔵)、慰問袋、戦死公報、徵収解除令書(米子自衛隊資料室蔵)、大東亜戦争従軍日記、横山薰範
遺品、衣料切符、主食糧配給票(個人蔵)

〈生活安定を求めて〉

米子博ボスター(米子図書館蔵)、鳥取県町村合併基本方針(国府町蔵)、倉吉市合併関係文書(倉吉市蔵)、鳥
取県婦人新聞(鳥取県婦人団体協議会蔵)、陶錢、教育宝くじ、竹製ボタン、農地買収令書、農地被買収者國
庫債券、竹製帽章、黒塗り教科書、教育委員當選証書、教員適格判定書、紙幣(個人蔵)

〈特設コーナー〉—災害と県民生活—

大震災日赤県支部の救援日誌(日赤県支部蔵)、鳥取市大火関係書、ア
メリカ渡航パスポート、海外から県内親族への便り(個人蔵)

〈明日への躍進をめざして〉

企画課が担当し、産業の振興、県民資質の向上、県民生活の安定と向上、産業及び生活基盤の整備、第4次鳥取県総合開発計画、鳥取国体の6テーマでパネル、イラスト、模型(伯備線電化模型他)等約40点により展示した。



(3) 日本の美—縄文から江戸時代まで—(東京国立博物館巡回展)

主 催 東京国立博物館、鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和56年10月25日(日)～11月15日(日) 無 休

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

入館者 9,522

入館料 一般 500円(団体 400円)、高校生 300円(団体 200円)、小中学生 200円(団体 100円)

会場風景(米子市総合研修センター)

東京国立博物館の陳列品の中から、縄文時代から江戸時代にいたる特色のある古美術149件(国宝2件、重要文化財15件、重要美術品5件を含む)を展示し、わが国の文化の流れを紹介した。

主な展示資料 ◎国宝、●重要文化財、△重要美術品

〈考古〉

注口土器(山梨県上野原町上宿出土) 縄文後期

壺形土器(名古屋市牧町西牧出土) 弥生後期

流水文銅鐸と舌(鳥取県東伯郡泊村池ノ谷出土) △中期

銅 錐(福岡県浮羽郡浮羽町藤ノ谷出土) △後期

橋津古墳出土品(鳥取県東伯郡羽合町橋津古墳出土) 古墳時代

蓮華文鏡瓦(奈良県高殿町藤原宮出土) 奈良時代

●伊福吉部德足比賣骨藏器(鳥取県岩美郡国府町宮ノ下出土) △



伊福吉部德足比賣骨藏器(国府町宮ノ下出土)

〈絵画〉

◎十六羅漢像 絹本着色 平安時代 △扇面流図屏風(伝本阿弥光悦筆) 紙本着色 江戸時代

●国幡堂縁起 絹本着色 鎌倉時代 ●伝名和長年像(長谷川信春筆) 絹本着色 桃山時代

△山水図(伝周文筆) 淡彩 室町時代 楊貴妃図(円山応挙筆) 絹本着色 江戸時代

〈書跡〉

◎賢愚經残巻(伝聖武天皇宸翰)紙本墨書き 奈良時代 ●大唐西域記 1巻 紙金銀文書 平安時代

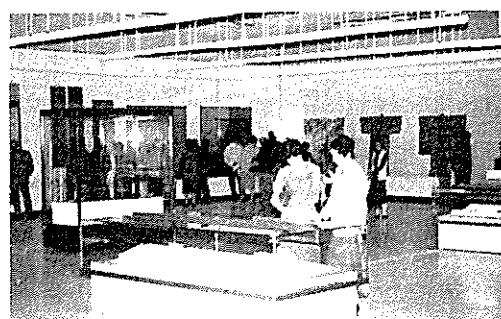
杜甫騎驥図贊(一休宗純筆) 紙本墨書 室町時代 築後切(伏見天皇宸翰) 紙本墨書 鎌倉時代

〈彫刻〉

- | | | | |
|-----------|----|------|--------------|
| 帝釈天立像 | 木造 | 平安時代 | ●真鍮踏絵ロザリオの聖母 |
| ●板踏絵 | | | |
| ●陶製マリア観音像 | | | |

〈陶磁〉

- | | |
|-----------|------|
| 自然釉蓋付壺 | 奈良時代 |
| 灰釉大壺 | 平安時代 |
| ●黄釉牡丹唐草文壺 | 鎌倉時化 |
| 四耳壺 | 室町時代 |
| △色絵飛鳳文隅切膳 | 江戸時代 |



会場風景

〈金工〉

- | | | | |
|-------------|------|----------|------|
| ●蓮池文簪 | 平安時代 | ●瑞花双鳳八稜鏡 | 平安時代 |
| 和鏡 山形県羽黒山出土 | 〃 | ●迦陵頻伽文華鬘 | 〃 |

〈刀剣〉

- | | | | |
|-----------|-------|-------------|------|
| ●黒漆銀銅蛭巻太刀 | 南北朝時代 | ●黒韋威胴丸 | 室町時代 |
| △漁舟図鐔 | 桃山時代 | △金小札紅糸威中白腹巻 | 桃山時代 |

〈漆工〉

- | | | | |
|--------|---------|--------|------|
| ●獅子螺鈿鞍 | 平安～鎌倉時代 | 扇散蒔絵鏡台 | 江戸時代 |
|--------|---------|--------|------|

〈染織〉

- | | | | |
|----------------|------|----------------|---|
| 白綸子地網菊文字横様染繡小袖 | 江戸時代 | 赤綸子地草花流水模様紋繡打掛 | 〃 |
|----------------|------|----------------|---|

3 館外主催展

展覧会名	会期	会場	内 容	入館者数	主 催 者
表具作品展	56.5.29～5.31	第3展示室	表具作品など 58点	800 [△]	鳥取県表具卸組合連合会
山陰書人社展	5.31～6.6	第1 〃	書 32点	1,007	山陰書人社
鳥取大学開学記念展	6.3～6.7	第2 〃	絵画、デザイン、彫刻、書、写真 142点	657	鳥取大学
森田光達遺作展	6.13～6.18	第1 〃	絵画 28点	1,167	株新日本海新聞社
日本の書展	7.23～7.27	第1展示室 第2 〃	書 200点	1,045	山陰中央新報社鳥取支局
鳥取県児童書展	7.23～7.27	第3展示室	書 466点	1,245	〃
鳥取県政100年記念展 ミレーとハービングの森の画家たち展	8.1～8.23	第1～第3展示室	絵画 86点	21,846	鳥取県、市鳥取県教育文化財団
鳥取県美術展	10.10～10.17	〃	絵画、彫刻、書、工芸 552点	(7,218)	鳥取県教育委員会
鳥取県勤労者美術展	11.21～11.23	第3展示室	写真、絵画、書 123点	578	鳥取県(商工労働部)
鳥取書道連盟会員展	11.21～11.27	第1展示室	書 147点	971	鳥取書道連盟
チャーチル会鳥取展	11.25～11.29	第3展示室	絵画 44点	700	チャーチル会鳥取
鳥取県高等学校芸術文化祭 美術展	12.6～12.12	第2展示室	絵画、彫刻、工芸 238点	500	鳥取県高等学校美術教育研究会
瀬戸内書道会作品展	57.3.11～3.14	第3展示室	書 40点	90	瀬戸内県人書道会
合			計	(7,218) 30,606	()は再掲で外数である。

4. 教育普及活動実施状況

博物館活動の一環として、館内外において巡回展(3地区)、天体観望会(4回)、見学会(7回)、標本の名前を調べる会(1回)、講演会(4回)、講座(9回)、映写会(10回)を実施した。

(1) 巡回展 「地球の歴史—化石の世界」

主催 鳥取県立博物館・西伯町教育委員会・日南町教育委員会・東郷町教育委員会

会場、会期、入場者

会 場	会 期	入 場 者
プ ラ ザ 西 伯	56. 5. 1 ~ 5. 5	1,739人
日 南 町 中 央 公 民 館	5. 7 ~ 5. 11	868
東 郷 町 中 央 公 民 館	5. 14 ~ 5. 18	563
合		計 3,170

入場料 無 料

県内の教育文化の振興をはかるため、本年度は第4年次として地球上に生物が誕生してから30億年間の生物が栄え亡んだ様子を化石(180点)、写真パネル、ジオラマにより紹介した。

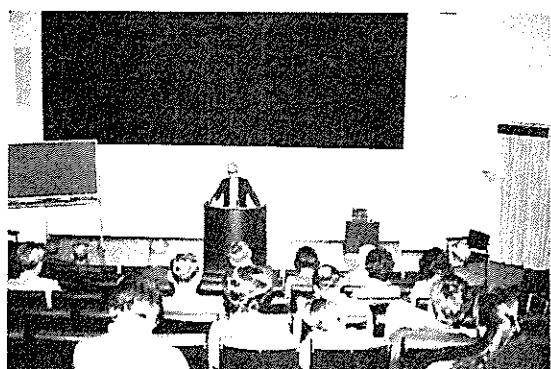
(2) 天体観望会・見学会など

事 業 区 分	月 日	事 業 名	会 場	講 師	参 加 者
天 体 観 望 会	4.25(土)	春の星座観望会	本館前庭	本館学芸員	100人
	7.25(土)	夏の星座観望会	〃	〃	250
	7.31(金)	部分日食を見る会	〃	〃	130
	8.8(土)	夏の星座観望会	(中止)		
	9.12(土)	名月を見る会	〃		
	10.24(土)	秋の星座観望会	本館前庭	本館学芸員	20
	12.19(土)	冬の星座観望会	(中止)		
見学会・採集会	4.12(日)	史跡を訪ねる会	羽合町	本館学芸員	55
	5.16(土)	野鳥の声を聞く会	鳥取市	本館学芸員他	48
	6.7(日)	但馬海岸の自然と久美浜の歴史を訪ねる会	京都府久美浜町	〃	55
	7.12(日)	古美術見学会	三朝町	〃	16
	8.2(日)	地質見学・化石採集会	津山市	〃	28
	8.23(日)	古民家を訪ねる会	八東町	〃	9
	10.17(土)	キノコを調べる会	鳥取市	〃	124
標本の名前を調べる会	8.20(木)	標本の名前を調べる会	本館会議室	〃	62
講 演 会	4.26(日)	近世の衣裳美	本館講堂	京都国立博物館文部技官 切畠 健	65
	9.19(土)	原敬について—その人物と鳥取県—	〃	京都女子大学教授文学博士 山本四郎	82
	10.18(日)	生物学者の目で見た自然保護	〃	菌じん研究所所長理学博士 平塚直秀	42
	10.25(日)	日本の美—琳派について—	〃	東京国立博物館主任研究官 中村秀男	48
講 座	5.9(土) ~5.10(日)	特別講座(大山の自然と歴史)	大山町	本館学芸員他	64
	7.4(土)	お母さんの自然教室 (植物の名前を調べる方法他)	本館会議室	本館学芸員	36
	7.11(土)	お母さんの自然教室 (昆虫の飼育方法他)	〃	〃	31

事業区分	月 日	事 業 名	会 場	講 師	参加者
講 座	7.18(土)	お母さんの自然教室 (星座盤づくり他)	本館会議室	本館学芸員	26人
	8.9(日)	親と子の博物館野外教室	羽合町	本館学芸員他	113
	11.7(土)	一般講座(文様にみる日本の美)	本館会議室	本館学芸員	18
	11.8(日)	〃(郷土の古代)	〃	鳥取県教育委員会文化財主事田中弘道	13
	11.14(土)	〃(郷土の民間信仰)	〃	鳥取県立鳥取東高等学校教諭林賢一郎	8
	11.15(日)	郷土史講座 寛文期のキリシタン対策	〃	鳥取大学教授 河手龍海	56
		元禄期の興行芸能	〃	鳥取県立鳥取西高等学校教諭浜崎洋三	
映 写 会	4.29(水)	近世の小袖・風俗画	本館講堂		25
	5.3(日)	〃	〃		19
	5.10(日)	〃	〃		45
	5.17(日)	〃	〃		28
	6.21(日)	谷間のカーテン他	〃		50
	11.1(日)	日本のやきもの・日本の文様	〃		43
	11.3(火)	〃	〃		45
	11.8(日)	〃	〃		23
	11.15(日)	自然のつりあいと保護他	〃		30
	3.14(日)	道祖神祭・とんどう	〃		5
合計(天体観望会500人、見学会335人、標本の名前を調べる会62人、講演会237人、講座365人、映写会313人)					1,812



親と子の博物館野外教室



講演会(日本の美—琳派について)

(3) 資料貸し出し

資 料 名	点 数	期 間	貸 し 出 し 先	使 用 目 的
絵画「花 容」	1	4.13~6.15	東京都生活文化局	東京展に展示のため
〃「棟梁の家族」	1	5.9~7.11	神奈川県立近代美術館	日本近代洋画展に展示のため
〃「遊鯉図」	1	6.13~6.18	(株)新日本海新聞社	森田光達遺作展に展示のため
仏具他	5	8.26~10.9	倉吉博物館	倉吉にみる鋳物の歴史展に展示のため
舟型木製品他	5	9.16~11.30	岡山県立博物館	海のみち展に展示のため
大日寺瓦経他	34	9.13~11.17	東京国立博物館	瓦経の展示のため
石馬	1	10.1~11.18	(財)馬事文化財団	日本古代の馬文化展に展示のため
きのこの標本他	29	10.15~10.27	智頭町中央公民館	標本の展示のため
合 計	77			

5. 調査研究活動

(1) 調査研究

部 門	事 項
地 学	○鳥取県の地質について調査した。
動 物	○鳥取砂丘に生息する昆虫について調査研究した。(研究報告第19号) ○三徳山周辺に生息する昆虫について調査した。 ○双翅類について調査研究した。
植 物	○鳥取県の海藻フロラについて調査研究した。 ○離弁花植物について研究した。 ○三徳山周辺の植物について調査した。
考 古	○長瀬高浜遺跡出土遺物について研究した。
民 俗	○文化庁委嘱事業として県内の民俗文化財分布を調査した。 ○石とくらしについて調査研究した。(郷土と博物館第27巻第2号)
美 術	○前田寛治、笹鹿彪、浜田台児について資料調査した。 ○県内関係の美術資料の調査をした。 ○昭和57年度特別展について調査した。 ○ウツロ谷の「浜坂焼」を調査した。(研究報告第19号)
史 料	○特別展「鳥取県100年」について資料調査をした。 ○池田家墓地について資料調査をした。 ○湯本文彦関係文書の調査をした。(資料調査報告書第9集) ○鳥取城の古図について所在調査をした。 ○三徳山三仏寺関係文書を調査した。

(2) 研究報告書等の刊行

名 称	規 格	ペー ジ 数	部 数
郷土と博物館 第27巻1号	A 5	32	1,000
〃 〃 2号	〃	30	1,000
年 報 No.9	B 5	30	700
三徳山とその周辺(鳥取県の自然の歴史4)	A 5	50	1,000
昆虫類目録(4)(所蔵目録28)	〃	32	500
種子植物目録(〃27)	〃	62	500
研 究 報 告 第19号	B 5	44	500
資料調査報告書(湯本文彦関係資料)第9集	〃	22	500
博 物 館 だ よ り No.12~No.15	〃	各4	各2,000



ウツロ谷窯跡